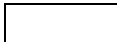


改善箇所説明図



注：  は、措置する部品を示す。

不具合箇所(リアブレーキパイプ)



BCM キャディ



固定クリップ



不具合箇所

リアブレーキパイプにおいて、設計検討が不十分なため、ボディコントロールモジュール（BCM）との間隙が不足し、干渉しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、走行振動等でブレーキパイプが摩耗して損傷し、最悪の場合、ブレーキフルードが漏れ、リアブレーキの制動力が低下するおそれがある。

改善措置の内容

全車両、BCMキャディを対策品に交換するとともに固定クリップを追加する。なお、ブレーキパイプを点検し、損傷している場合はブレーキパイプを新品に交換する。

識別

改善実施済車には、車台番号打刻1桁目の下に白色ペイントを塗布する。